

平成23年度確かな学力向上のための具体的取組 **評価**

大館市立長木小学校

ねらい：確かな学力の向上を図る

「確かな学力」		平成23年度の評価指標と実践課題	学校評価 自己評価B
①知識・技能の習得	○		
②思考力・判断力・表現力の育成	○		
③学習意欲・学習習慣	○		
「確かな授業力」		自主自立的な生活 ・正しい言葉遣いと挨拶の習慣化 ・けじめのある生活の習慣化	3 (3)
④生徒指導の機能を生かした学習指導	○		
		思いやりの心たくましい心 ・互いの良さを認め合い、やる気に満ちた学級集団	4 (3)

共通実践事項	具体的な取組	達成状況	備考等(課題▲, 成果○)
① 学力向上を目指した学校間の積極的な連携	<ul style="list-style-type: none"> ・小中授業交流会 ・卒業生のNRT検査の追跡調査 ・研究授業を授業交流として公開 ・他校の研究授業の参観 	▲ ▲ ○ ○	○先進校の授業を参観し、研修報告をして、全職員で共通理解を図り、授業改善に生かした。
② 「活用する力」を育てるための授業づくり	考え、学び合い、表現する力を伸ばす算数授業 <ul style="list-style-type: none"> ・解決の見通しをもたせる工夫(めあて・学習問題・発問・個へ対応等) ・学習形態の工夫(少人数学習・話し合いのさせ方等) ・自分の考えを表現させるための方法(表現の方法・場の設定の仕方等) ●自己評価や相互評価を生かし方(変容の分かる評価の方法・評価計画等) 	○ ○ ○ ▲	○ペアやグループでの学び合いを効果的に取り入れることで、自分の考えに自信をもたせたり、学習内容の定着を図ることができた。 ▲習熟の時間や振り返りの時間、能力差に応じた終末問題や支援も時間を十分に取ることができなかった。45分間の授業の展開の仕方が課題である。

(● 重要な課題であると考えられる具体的な取組)